

市 民 交 流 課

○ 男女共同参画関係

1 男女共同参画情報紙発行业

男女共同参画に関して広く市民に情報発信するため、公募市民5人の企画編集による情報紙「れいんぼう」を2回発行した。

(1) 編集会議

4月～3月まで26回の編集会議

(2) 内 容 A4・2色・4ページ

号 数	発行月	配布方法	発行部数	テーマ
第24号	21. 9	各戸配布	52,100 ^部	市民の力で、まちづくり
第25号	22. 3	各戸配布	52,100	地域に合った、まちづくり

2 男女共同参画推進都市事業

(1) 男女共同参画推進事業委託

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、男女共同参画社会の実現を目指した取組を行った。

なお、企画運営については、公募市民12人で組織する「男女共同参画れいんぼう伊勢」と協働で行った。

ア パートナーの日の啓発推進

男女がお互いを思いやり、感謝する「パートナーの日（8月17日）」を広く市民に周知するため、啓発事業を行った。

①啓発品配布

回 数	開催日	開催場所	内 容
第1回	21. 6. 2	小俣町、船江3丁目 ぎゅーとら小俣店、ハイジ店	啓発用ティッシュの配布
第2回	21. 6. 5	藤里町、神田久志本町 ぎゅーとら藤里店、神田久志本店	
第3回	21. 7. 26	八日市場町 福祉健康センター「ボランティアまつり」会場	
第4回	21. 8. 1	外宮 「浴衣で千人参り」会場	

②講演会

開催日	開催場所	内 容	参加人数
21. 8. 8	ハートプラザみその 多目的ホール	坂東眞理子講演会 「ともに輝く、社会で、家庭で、人生で」	人 380

イ 男の料理教室

家庭生活における男女共同参画を目指して、簡単にできる男性の料理教室を開催し、家庭生活に対する男性の参画を促した。また、親子の料理教室「パパと一緒にクッキング」も開催した。

内 容	開催日	開催場所	講 師	参加人数
男の料理教室	21. 5. 30	ハートプラザみその 栄養指導室	男女共同参画 れいんぼう伊勢	人 20
男の料理教室 (初級編)	21. 12. 6	ハートプラザみその 栄養指導室	男女共同参画 れいんぼう伊勢	20
パパと一緒に クッキング	22. 3. 13	ハートプラザみその 栄養指導室	男女共同参画 れいんぼう伊勢	18

ウ 生活講座の開催

心身ともにリラックスした毎日を送るための手法として、心と体のリフレッシュ講座を開催した。

テーマ	開催日	開催場所	講 師	参加人数
タッピングタッチ教室	21. 11. 1	ハートプラザみその 保健会議室	中川 祥子 スクールカウンセラー	人 35
心と体のリフレッシュ講座 (ストレッチ体操と落語)	22. 2. 27	小俣総合支所	辻出美香 (ストレッチ体操) 切磋亭琢磨 (落語家)	39

エ 三重県内男女共同参画連携映画祭

三重県の男女共同参画を推進するため、県内の男女共同参画センター3館と5市が連携して映画祭を開催した。

開催日	開催場所	内 容	参加人数
21. 6. 27	ハートプラザみその 多目的ホール	映画「ぐるりのこと。」	人 324

(2) 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画基本計画（れいんぼう計画）に基づいた男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について、審議した。

回数	開催日	開催場所	内容
第1回	21. 7. 10	市役所東庁舎 4-2 会議室	各課の取組状況について

(3) 人材育成講座の開催

社会のあらゆる場で、男女が個々の能力を発揮できる力を身につけ、男女共同参画を理解してもらうため、人材育成講座（れいんぼう講座）を開催した。

回数	開催日	テーマ	講師	場所	参加人数
第1回	22. 1. 24	コーチングとは コーチングの基本スキル	(株)Will Staff 長谷川 聡子	市役所東庁舎 4-3 研修室	人 15
第2回	22. 2. 7	コーチングスキルの習得	(株)Will Staff 長谷川 聡子	市役所東庁舎 5-2 会議室	15
第3回	22. 2. 21	コーチングトレーニング セルフコーチング	(株)Will Staff 長谷川 聡子	市役所東庁舎 4-3 研修室	14

3 DV被害者生活支援給付金

定額給付金給付事業及び子育て応援特別支給事業の対象者でありながら、DV被害から逃れるため住民票とは異なる場所に住んでいる女性や子どもに対して、定額給付金事業等による給付金及び手当とは別に、同額のDV被害者生活支援給付金を市独自で支給した。

世帯	人数	金額
4 件	延 11 人	204,000 円

○ 市民交流関係

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センター指定管理者制度

平成 16 年 4 月に公設公営でセンターを稼働し、平成 16 年 7 月には、指定管理者制度を導入して公設民営で稼働。平成 21 年度から第 3 期目（3 ヶ年）の指定管理者を選定している。

期 間	委 託 金 額	指定を受けた管理者
<第1期> 自 16. 7. 1 至 17. 3. 31	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット

<第2期> 自 17. 4. 1 至 21. 3. 31	円 48,202,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
<第3期> 自 21. 4. 1 至 24. 3. 31	46,777,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット

(2) 事業の内容

ア いせ市民活動センター運営事業

- ・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ (<http://skc.e-ise.net>)、情報誌(「パルティ」年4回発行)等を活用し市民活動に関する情報の収集及び提供等を行った。
- ・交流事業などを通して、さまざまな団体と結びつき、広く市民活動への理解を深めた。

期 日	内 容
21. 12. 12	チャリティコンサート第5回ミュージックコミュニケーション開催 チャイルドライン24へ募金
21. 12. 15	第2回いせ市民活動センター登録団体交流会開催
21. 12. 20	京都市民活動フェスティバル視察
22. 3. 20	チャリティコンサート第6回ミュージックコミュニケーション開催

- ・ワーキングスペースに印刷機、コピー機、レンタルPC(センター内の利用に限る)を設置。また、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し市民活動を支援した。同時に、市民活動支援パソコン講習会等も開催した。

イ センター管理業務

施設利用の登録、使用許可及び施設・設備及び機器の維持管理

(施設稼働状況)

	北 館				利用者数	南 館	
	平均稼働率					平均稼働率	利用者数
	多目的ホール	A会議室	B会議室	1 Fホール			
19. 4. 1 ～ 20. 3. 31	% 37.4	% 33.3	% 35.5	% 19.8	人 47,898	% 27.5	人 16,808
20. 4. 1 ～ 21. 3. 31	41.5	38.2	42.2	16.8	48,152	27.6	16,247
21. 4. 1 ～ 22. 3. 31	39.3	42.0	45.5	24.7	42,273	26.7	15,963

※平均稼働率・・・稼働実績時間数/稼働可能時間(11時間)×稼働可能日数

(登録団体数)

基準日	登録団体数
16. 7. 1	59 団体
18. 3. 31	82
19. 3. 31	102
20. 3. 31	113
21. 3. 31	127
22. 3. 31	143

(3) 協働事業の実践

平成16年9月、台風21号により甚大な被害を被った経験を教訓に、「災害に強いまちづくり」を目指し、平成17年度に市民と協働で取り組む「伊勢市防災しみんの会」を設立した。

主なメンバーは、いせ市民活動センター、伊勢市社会福祉協議会、伊勢市ボランティア連絡協議会、市民有志、伊勢市（市民交流課、危機管理課）。

また、平成21年度は、同会の協力を得て、災害時のボランティアセンター設置と運営等に関する協定書の検討とその設置・運営マニュアルの作成を行った。

期 日	内 容
21. 4. 2	第1回伊勢市防災しみんの会 災害ボランティアセンターのあり方に関する提言書の確認について
21. 4. 28	第2回伊勢市防災しみんの会 災害時のボランティアセンターマニュアルの作成
21. 5. 14	災害ボランティアセンターの設置と運営等に関する協定書に関する打ち合わせ
21. 5. 26	第3回伊勢市防災しみんの会 災害時のボランティアセンターマニュアルの作成
21. 6. 23	第4回伊勢市防災しみんの会 災害時のボランティアセンターマニュアルの作成
21. 7. 6	第5回伊勢市防災しみんの会 災害ボランティアセンターの設置と運営等に関する協定書および運営マニュアルの作成検討
21. 7. 10	災害ボランティアセンターマニュアルの作成
21. 8. 6	第6回伊勢市防災しみんの会 災害時のボランティアセンターマニュアルの作成
21. 8. 21 21. 9. 3	災害ボランティアセンターマニュアルの作成
21. 10. 5	第7回伊勢市防災しみんの会 災害ボランティアセンターマニュアルの作成
21. 10. 20	災害ボランティアセンターマニュアル作成の打合せ
21. 10. 26	災害ボランティアセンターマニュアルについて、伊勢市社会福祉協議会（本所、

21. 11. 9 21. 11. 24	伊勢、二見、小俣、御菌支所) 担当者と協議
21. 11. 26	第 8 回伊勢市防災しみんの会 災害時のボランティアセンターマニュアルの作成検討
21. 12. 8 21. 12. 21 22. 1. 13	災害ボランティアセンターマニュアルについて、伊勢市社会福祉協議会（本所、伊勢、二見、小俣、御菌支所）担当者と協議
22. 3. 19	第 9 回伊勢市防災しみんの会 災害時のボランティアセンターマニュアルの最終確認

2 活性化活動事業

市内に活動拠点を置く地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し市民自治の担い手として活動を継続的に続けるために、その経費の一部を補助した。選考は平成 21 年 5 月 17 日に公開プレゼンテーションを実施し、審査員（民間及び学識経験者から 5 名、県職員 1 名を委嘱）が審査し決定した（申請団体 12、決定団体 8）。

補助金の補助率は対象経費の 10 分の 8 以内、10 万円を限度に交付した。

（対象事業）

保健・医療又は福祉の増進、子どもの健全育成、社会教育、まちづくりの推進、学術・文化・スポーツの振興、環境の保全、災害救援、地域安全、人権の擁護又は平和の推進、国際協力、男女共同参画社会の促進、雇用機会の拡充支援、情報化社会の発展等

平成 21 年度交付団体（7 団体）

団体名	交付額	事業内容
アイリッシュ・ネットワーク・ジャパン三重支部	円 100,000	第 7 回セント・パトリックスデーパレード伊勢
いすずウキウキクラブ	100,000	ものづくり教室、ふれあいイベント
NPO 朝熊山麓に花を咲かす会	100,000	芝桜の植栽と花の手入れ及び花木の植樹
青春キネマ館&キッズシアター上演実行委員会	100,000	「チェブラーシカ」上映会（通常上映会 & ハンディキャップ上映会）
全国高齢者チア・アップ伊勢大会 実行委員会	100,000	全国高齢者チア・アップ伊勢大会
特定非営利活動法人 ライフアカデミー	100,000	ハートフルコンサート
二見浦さくらまつり実行委員会	100,000	二見浦さくらまつり
合計	700,000	

※ 交付決定 8 団体のうち 1 団体は、自主財源確保の努力により自立運営が認められ、伊勢市補助金等交付規則第 14 条の補助金等の全部又は一部を使用しなかったときに該当したため、交付決定の取り消しを行った。

3 伊勢のまつり開催事業

平成 20 年度から市民主体の実行委員会を立ち上げ企画運営を行い、平成 21 年度は名称を公募により「伊勢まつり」と改称し、開催日も 9 月の最終土曜日・日曜日（9 月 26 日・27 日）に変更し開催された。

また、まつりの準備、片付けなど実行委員及び参加者が行い、市民主体の“まつり”という意識が現れてきた。

内容については、伊勢音頭などのパレードや踊り、太鼓、出展・出店の参加団体があった。

天候にも恵まれ、参加者、来場者とも新しいまつりを楽しんだ。

参加団体 210 団体（6,767 人） ※平成 20 年度 161 団体（6,205 人）

観客数 約 150,000 人（26 日 8 万人、27 日 7 万人） ※平成 20 年度 約 120,000 人

4 いせ市民活動センター施設整備事業

いせ市民活動センターの高圧受電設備が、遮断器不良により感電や電気火災になる恐れがあるため、改修工事を実施した。

また、非常用発電機の蓄電池触媒栓取替工事も実施した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
岩渕 1 丁目 地 内	いせ市民活動センター高圧受電設備等改修工事	高圧真空遮断器取替 1 台 高圧過電流継電器取替 1 台 非常用予備発電機電池触媒栓取替 12 個 キュービクル内部板発錆箇所改修 1 式	円 966,000	22. 1. 29	22. 3. 9

5 地区連絡員事業

行政の運営を円滑に且つより効果的に行うため、市内に地区連絡員（172 人）を配置し、行政情報等の伝達を行った。

- (1) 市の広報紙等の配付（月 1 回）
- (2) おしらせ版等の配布（月 1 回）
- (3) その他市長が特に必要と認める職務

平成 21 年 3 月 31 日現在の世帯数で報酬額を算定

最多世帯数 一之木地区 1,359 世帯 最少世帯数 峰団地 11 世帯

平均世帯数 306 世帯（報酬総額 100,975,200 円）

○ コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理経費

コミュニティセンター使用状況

豊浜・城田・沼木・神社・北浜・浜郷・宮本・大湊地区コミュニティセンターについては、地域の会合、生涯学習・スポーツ課の出前講座など地域のコミュニティや生涯学習の場として活用されている。

(1) 豊浜地区コミュニティセンター (H21. 4. 1～H22. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
72	24	96	1,103	84	191

(2) 城田地区コミュニティセンター (H21. 4. 1～H22. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
89	47	136	2,009	777	2,103

(3) 沼木地区コミュニティセンター・農村環境改善センター (H21. 4. 1～H22. 3. 31)

会議室利用状況					図書室利用状況	
会議室	生活研修室	営農相談室	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	件	※ 人	人	冊
62	47	16	125	4,388	274	761

※選挙投票所として利用した 2,400 人を含む。

(4) 神社地区コミュニティセンター (みなとディサービスセンターに併設) (H21. 4. 1～H22. 3. 31)

図書室利用状況	
貸出人数	貸出冊数
人	冊
658	1,621

(5) 北浜地区コミュニティセンター (H21. 4. 1～H22. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
80	54	134	1,852	396	1,499

(6) 浜郷地区コミュニティセンター (H21. 4. 1～H22. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
166 件	1 件	167 件	3,837 人	60 人	194 冊

(7) 宮本地区コミュニティセンター (H21. 4. 1～H22. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
199 件	158 件	357 件	3,357 人	244 人	855 冊

(8) 大湊地区コミュニティセンター (H21. 4. 1～H22. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
52 件	35 件	87 件	1,705 人	129 人	405 冊

○ 国際交流推進事業関係

1 国際交流推進事業

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 外国人住民への支援

ア 外国人研修制度により来日した中国人研修生対象の説明会の開催

①防災について一災害時要援護者である外国人対策の一環として、危機管理課と共に開催

・日時 平成 21 年 4 月 23 日、10 月 16 日、11 月 12 日

・場所 いせ市民活動センター 2 階

イ 外国人のための生活ガイドの作成

伊勢市で生活する外国人住民の日常生活の利便を図るため、基本的な情報を掲載した「伊勢市生活ガイド」(日本語版、中国語版、ポルトガル語版、英語版)の作成を行い、市のホームページに掲載を行った。

ウ 三重県市町多文化共生ワーキングへの参加

増加し続ける県内の外国人住民と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県及び 11 市町のメンバーにより開催され、計 9 回参加した。

市町役場の窓口において使用する「指差し会話集」に続き、多言語訳の「外国籍児童生徒用の職業案内」を作成した。

(2) 国際交流関係

伊勢市国際交流協会

国際交流事業を通して、市民と外国の人々との交流、親善の促進と国際相互理解の増進を図り、世界平和の理念の達成に資するとともに、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的として活動している。市は、事務局としてその活動を支援し、市民とともに伊勢市の国際化に関する事業を推進している。

- 主な事業
- ・外国人住民のための日本語教室
 - ・国際理解講座
 - ・ホームステイ事業
 - ・世界の文化の紹介イベント
 - ・伊勢市駅前ボランティアタウンガイド
 - ・会報誌「フィロス」の発行 等

平成 22 年 3 月末会員数 個人会員 111 名、団体会員 9 団体、企業会員 5 企業

2 豪州中学生派遣交流事業代替研修

オーストラリア・ゴールドコースト市で現地家庭でのホームステイ、現地学校での語学研修や交流授業、文化交流等を通して、国際理解を深め、国際的視野と高い市民意識を持った青少年を育成することを目的に中学生を派遣する予定であったが、新型インフルエンザの影響で中止となったため、代替研修を行った。

代替研修参加対象者・日時等

- ① 対象 オーストラリア派遣予定の中学 3 年生 24 名
- ② 日時 平成 21 年 8 月 19 日(水) 10:00~15:00
- ③ 参加人数 13 人
- ④ 内容 三重県の国際交流員(CIR)及び、伊勢市のALTを招聘し、オーストラリア派遣予定だった生徒に対して英語に親しむ為のゲームや講演等を行った。

○ 自治会関係

1 区長謝礼事業

市内 172 自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。

(報償費総額 7,260,000 円)

2 振興助成金事業

市内 172 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振興助成金		
			平等割	世帯割	合計
本庁	50	19,511	円 2,500,000	円 6,828,850	円 9,328,850
支所	71	19,191	3,550,000	6,716,850	10,266,850
二見総合支所管内	10	3,294	500,000	1,152,900	1,652,900
小俣総合支所管内	27	7,134	1,350,000	2,496,900	3,846,900
御菌総合支所管内	14	3,567	700,000	1,248,450	1,948,450
合計	172	52,697	8,600,000	18,443,950	27,043,950

3 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が主体的に取り組む事業に対して、補助した。

補助金の限度額は、対象事業費に対して3分の2を乗じた額か、世帯割に応じて積算された額を比較し、いずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

- ① 地域に根ざした伝統文化の継承事業 18 件
 - ② 地域の特性を生かしたイベントなどの地域おこし事業 6 件
 - ③ 地域内の清掃美化等の環境保全事業 75 件
 - ④ 補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業 4 件
 - ⑤ 訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業 23 件
 - ⑥ 少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業 7 件
 - ⑦ 住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業 90 件
- ・平成 21 年度対象自治会 172 自治会
- ① 交付申請・決定自治会 135 自治会
 - ② 交付申請・交付決定額 7,669 千円

4 コミュニティ助成事業

(財)自治総合センターが、宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業であり、コミュニティ活動の健全育成を図り、宝くじの普及広報を目的としコミュニティ組織である自治会にコミュニティ事業補助金を交付した。

交付決定自治会 8自治会

交付決定額 27,400千円

自治会名	補助金額	事業名
明野第4自治区	円 1,100,000	レクリエーション活動用備品購入
栗野区会	2,000,000	祭り用具購入
掛橋自治区	1,400,000	祭り用具購入
中小俣自治区	1,000,000	視聴覚機器購入
西区自治会	2,100,000	祭り屋台購入
溝口区自治会	2,500,000	祭り屋台購入
宮川町町内会	2,400,000	放送設備の整備
古市連合自治会	14,900,000	古市連合自治会公民館新築工事
合計	27,400,000	

5 伊勢市総連合自治会事務

伊勢市総連合自治会は、各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親睦と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動しており、その事業活動を支援するため補助金を交付した。

(補助金 1,430,000円)

6 地縁団体等関係

地方自治法第260条の2の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

平成21年度 地縁団体認可団体数 2団体 (累計認可団体数61団体)

○ 地域自治推進関係

1 地域自治推進事業

「ふるさと未来づくり」を推進するにあたって、市役所と地域とのパイプ役として各小学校区に配置した「地区担当職員」が地域で懇談会を行い、取り組みに対する地域住民の理解促進を図った。また、「ふるさと未来づくり」モデル地区に選定した厚生学区と小俣・明野学区から、その仕組みを完成させるため、検証を行った。

さらに地域リーダー養成のための研修会や、市民の自治意識啓発のための講演会を開催した。

(1) 「地区担当職員」によるまちづくり支援

市と地域とのパイプ役として各小学校区に配置された市職員(地区担当職員)が行政情報の提供及び地区情報の収集を行うとともに、「地区みらい会議」(仮称)の設立に向けて地域自らのまちづくりを支援した。

また、各地区の取り組み状況の把握と情報交換、相互調整を行うため、各地区の班長で組織した「地区担当者会議」を随時開催した。

ア 地区担当者数

課長級職員 74 人（内訳：二見・御薊学区は各 4 人、その他学区各 3 人）

イ 地区担当者会議

第 1 回

開催日 平成 21 年 9 月 3 日（木）
内 容 ・「ふるさと未来づくり」のスケジュール変更について
・各地区の取り組み状況の情報交換

第 2 回

開催日 平成 22 年 2 月 16 日（火）
内 容 ・市長あいさつ（「ふるさと未来づくり」の推進に向けて）
・支所管内モデル地区の指定について
・各地区の取り組み状況の情報交換

(2) 広報活動

ケーブルテレビで随時「ふるさと未来づくり」の概要を伝えるとともに、「広報いせ」でもシリーズで「私たちの地域だから、私たちがやりたいことがある」と題して「ふるさと未来づくり」の概要を伝えた。

(3) 研修会、講演会等の開催

ア 「まちづくり人材養成講座」の開催

「ふるさと未来づくり」を進めるための知識や手法を習得し、地域に根ざした創造性豊かなまちづくりの推進役となる人材を養成するため講座を開催した。

第 1 回 「地域づくり全体を学ぶ」

開催日 平成 21 年 8 月 23 日（日）
開催場所 いせ市民活動センター 多目的ホール
講 師 愛知学泉大学コミュニティ政策学部 伊藤雅春 教授
参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 52 人

第 2 回 「住民参加のまちづくりを学ぶ」

開催日 平成 21 年 9 月 12 日（土）
開催場所 伊勢市生涯学習センター いせトピア 研修室 1・2
講 師 岐阜経済大学経済学部 鈴木 誠 教授
参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 47 人

第3回 「各まちづくり協議会の活動を学ぶ」

開催日 平成21年10月10日（土）
開催場所 伊勢市生涯学習センター いせトピア 研修室1・2
講師 三重中京大学 特別任用所員 松本圭史 講師
伊勢市厚生地区まちづくりの会事務局長
名張市美旗まちづくり協議会会長
参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 40人

第4回 「会議進行術を学ぶ」

開催日 平成21年11月14日（土）
開催場所 伊勢市生涯学習センター いせトピア 研修室1・2
講師 ハローボランティア・ネットワークみえ 代表 山本康史 さん
参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 40人

第5回 「ワークショップを学ぶ」

開催日 平成21年12月12日（土）
開催場所 伊勢市生涯学習センター いせトピア 研修室1・2
講師 愛知学泉大学コミュニティ政策学部 伊藤雅春 教授
参加者 一般公募、自治会関係者、地区担当職員 37人

イ 「地域主体による新たなまちづくり講演会」の開催

新たな住民自治の仕組みづくりとしての「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深め、市全体の気運の醸成を図るため講演会を開催した。

開催日 平成22年1月29日（金）
開催場所 ハートプラザみその 多目的ホール
講師 「地域の絆によるまちづくり～地域協働～」
法政大学法学部 名和田是彦 教授
参加者 一般市民、自治会関係者、各種団体、市議会議員、職員等 合計350人

(4) 「ふるさと未来づくり」モデル地区の選定

ふるさと未来づくり推進計画を検証するため、地域の実情調査の結果等に基づき、小俣・明野学区をモデル地区に選定した。また、小俣・明野学区に人的支援、財政支援を行い、地域主体のまちづくりを推進するとともに、ふるさと未来づくりに対する市民の理解促進と気運の醸成を図った。

モデル地区選定日 厚生学区 : 平成20年11月18日
小俣・明野学区 : 平成21年5月7日

○ 合併調整関係

1 伊勢市総合支所連絡会議

各総合支所相互及び本庁との連絡調整を行い、市行財政の適正かつ効率的な遂行を図るため「伊勢市総合支所連絡会議」を設置している。構成員は副市長を座長とし、総合支所長、総務部長、財務政策部長、環境生活部長及びあらかじめ市長が指名した者で組織し、平成 21 年度に開催した各会議の案件は下記のとおりであった。

第 35 回総合支所連絡会議

開催日 平成 21 年 6 月 9 日（火）

協議事項 ・ 合併調整にかかる未調整項目の調整スケジュールの設定について

第 36 回総合支所連絡会議

開催日 平成 21 年 8 月 3 日（月）

付議事項 ・ ごみの収集方法等の統一に関する基本方針について
・ 防災行政無線（一元・デジタル化）整備について
・ 放置自転車対策事業

その他 ・ 未調整項目の調整スケジュールの変更について

第 37 回総合支所連絡会議

開催日 平成 21 年 11 月 24 日（火）

付議事項 ・ 学校施設の開放について
・ 少人数授業等町単独非常勤講師（小学校）（中学校）
・ 公共的団体等の取り扱いについて（身体障害者団体）
・ 公共的団体等の取り扱いについて（知的障害者団体）

第 38 回総合支所連絡会議

開催日 平成 22 年 1 月 12 日（火）

付議事項 ・ 伊勢市・飯田市婦人会交流事業について
・ P T A 連合会補助事業について
・ 親子会連絡協議会補助金について
・ 簡易水洗便槽設置整備事業について
・ 犬猫不妊手術費等補助金について
・ 防疫事業について
・ 動力二兼機整備事業について
・ 老人クラブ補助金（単位老人クラブ・連合会）について
・ 国際交流推進事業について

その他 ・ 放課後児童対策事業の特 A から A 項目への変更要望について
・ 未調整項目の調整スケジュールの提案について

第 39 回総合支所連絡会議

開催日 平成 22 年 2 月 8 日（月）

- 付議事項
- ・水道料金、加入金、下水道使用料の改定について
 - ・営農対策事業補助金等農業関係補助金について
（営農指導対策補助金、農産物生産性向上促進事業補助金、病虫害防除対策事業補助金の類似補助制度一本化）
 - ・土地改良事業補助金について
 - ・身体障害者日常生活用具給付事業（身体障害者福祉電話設置事業）について
 - ・緊急通報装置貸与事業について
 - ・児童館運営管理事業について

第 40 回総合支所連絡会議

開催日 平成 22 年 3 月 12 日（金）

- 付議事項
- ・都市計画税について

第 41 回総合支所連絡会議

開催日 平成 22 年 3 月 30 日（火）

- 付議事項
- ・都市公園施設維持管理事業について
 - ・まつり開催事業について
- その他
- ・第 3 期地域審議会委員募集について

2 地域審議会正副会長会議

市民の声を施策に反映させることを目的に合併前の 4 市町村の協議により、各区域を単位に設置している地域審議会の活動状況報告、連絡調整、意見交換の場として正副会長会議を次のとおり開催した。

第 1 回地域審議会正副会長会議

開催日 平成 21 年 5 月 11 日（月）

- 協議事項
- ・各地域審議会との交流について
- 報告事項
- ・ごみの収集方法等統一に関する基本方針（素案）について

伊勢市地域審議会委員交流会

開催日 平成 21 年 11 月 21 日（土）

開催場所 小俣公民館第 1 会議室、2 階会議室、3 階会議室、3 階講堂

基調講演

- ・演題「伊勢のくらしと自然の恵み」

皇學館大学社会福祉学部 櫻井治男 教授

各審議会委員交流会

グループでの意見交換内容の発表

○ 定額給付金事業関係

1 施策の目的

景気後退下での住民の不安に対処するため、住民への生活支援を行うとともに、住民に広く給付することにより、地域の経済対策に資するために実施した。

2 事業の実施主体

伊勢市（国補助金事業）

3 給付対象者及び申請・受給者

給付対象者：

基準日（平成21年2月1日）において、以下の要件のいずれかに該当する者。

- ① 住民基本台帳に登録されている者。
- ② 外国人登録原票に登録されている者のうち、次の者で、かつ給付決定日においても引き続き同要件を満たしている者。
 - ・ 出入国管理に関する特例法に定める特別永住者
 - ・ 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格を有して在留する者（在留資格を有することなく在留することができる者を含み、短期滞在の在留資格で在留する者を除く。）

申請・受給者：

上記①・・・その者の属する世帯の世帯主

上記②・・・給付対象者の要件に該当する者

4 給付額

1人につき1万2千円、ただし、65歳以上の者及び18歳以下の者は2万円。

65歳以上の者……昭和19年2月2日以前に出生した者

18歳以下の者……平成2年2月2日以降に出生した者

5 申請及び給付

- ・ 郵送申請方式・・・郵送で申請、給付は口座振込（口座のない人は後日現金）
- ・ 窓口申請方式・・・市（本庁・各総合支所）の窓口で申請、給付は口座振込（口座のない人は後日現金）

6 給付申請受付開始日及び終了日

- ・ 開始日：平成21年4月20日（月）
- ・ 終了日：平成21年10月20日（火）

7 事業実績

	総数 (①)	受付 実績 (②)	受付 割合 (②/①)	給付 実績 (③)	給付 割合 (③/①)	摘要
給付対象件数	件 53,281	件 52,420	% 98.4	件 52,416	% 98.4	辞退申請 件 4
給付対象数	人 134,892	人 133,917	% 99.3	人 133,909	% 99.3	辞退申請 人 8
給付金額	円 2,073,528,000	円 2,060,540,000	% 99.4	円 2,060,428,000	% 99.4	辞退申請 円 112,000

戸 籍 住 民 課

○ 届出係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数及び人口

区 分		平成 22 年 3 月末
世 帯 数		52,539 世帯
人 口	男	63,108 人
	女	69,826
	計	132,934

(注) 伊勢市総数

(2) 住民異動状況

区 分		人 数
届 出	転 入	3,292 人
	転 出	3,679
	転 居	4,166
	世 帯 変 更	2,521
	そ の 他	39
職 権	出 生	1,041
	死 亡	1,295
	職 権 消 除	8
	修 正	5,525
計		21,566

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍及び本籍人口 (平成 22 年 3 月 31 日現在)

戸 籍 数	62,548 戸籍
本 籍 人 口	155,061 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届出	他市町村からの送付	計
出生	862 件	441 件	1,303 件
婚姻	545	913	1,458
離婚	191	136	327
死亡・失踪	1,126	311	1,437
養子縁組	69	45	114
養子離縁	25	17	42
国籍の得喪・留保	10	13	23
本籍表示の変更	268	280	548
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	284	115	399
上記以外で身分に変更が生じるもの	13	15	28
訂正・追完	87	6	93
不受理申出	21	2	23
その他	1	4	5
計	3,502	2,298	5,800

(3) 戸籍事務処理状況

区分	件数
新戸籍編製	858 件
戸籍全部消除	921
通知違反	4
その他	3
計	1,786

(4) 人口動態調査票作成状況

区分	男	女	不詳	計
出生	609 件	551 件	0 件	1,160 件
死亡	676	656	0	1,332
死産	5	2	7	14
婚姻				648
離婚				235
計				3,389

(注) 人口動態調査令 (昭和 21 年勅令第 447 号) に基づき、保健所へ提出
伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,333 件

(注) 相続税法 (昭和 25 年法律第 73 号) 第 58 条に基づき、税務署へ通知
伊勢市総数

(6) 死産届出受理状況

男	女	不詳	計
5 件	2 件	7 件	14 件

(注) 伊勢市総数

(7) 埋葬・火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	計
埋 葬	1 件	0 件	1 件	2 件
火 葬	973	7	11	991
計	974	7	12	993

(8) 民刑事事項等処理状況

区 分	件 数
犯罪関係通知	346 件
民事関係通知	37
身元事項照会	2,936
計	3,319

(注) 伊勢市総数

3 支所関係

(1) 戸籍関係手数料調定事務等

各支所との連絡調整のほか、支所で取り扱う戸籍関係手数料の調定を行った。

また、市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

区 分	神社支所	大湊支所	浜郷支所	宮本支所	豊浜支所
戸籍手数料	(1,118件) 626,400円	(612件) 341,000円	(943件) 513,450円	(427件) 226,150円	(1,005件) 548,550円
住民基本台帳 関係手数料	(1,602) 320,400	(941) 188,200	(2,022) 404,400	(826) 165,200	(1,331) 266,200
印鑑証明手数料	(1,372) 274,400	(956) 191,200	(1,933) 386,600	(907) 181,400	(1,655) 331,000

諸証明手数料	(20) 4,000	(15) 3,000	(26) 5,200	(9) 1,800	(40) 8,000
外国人登録関係 証明	(1) 200	(4) 800	(6) 1,200	(0) 0	(1) 200
計	(4,113) 1,225,400	(2,528) 724,200	(4,930) 1,310,850	(2,169) 574,550	(4,032) 1,153,950

区 分	北浜支所	城田支所	四郷支所	沼木支所	計
戸籍手数料	(1,192件) 676,500円	(794件) 430,200円	(661件) 356,650円	(326件) 178,900円	(7,078件) 3,897,800円
住民基本台帳 関係手数料	(1,555) 311,000	(1,445) 289,000	(934) 186,800	(472) 94,400	(11,128) 2,225,600
印鑑証明手数料	(1,745) 349,000	(1,406) 281,200	(1,011) 202,200	(603) 120,600	(11,588) 2,317,600
諸証明手数料	(16) 3,200	(28) 5,600	(15) 3,000	(7) 1,400	(176) 35,200
外国人登録関係 証明	(0) 0	(4) 800	(0) 0	(0) 0	(16) 3,200
計	(4,508) 1,339,700	(3,677) 1,006,800	(2,621) 748,650	(1,408) 395,300	(29,986) 8,479,400

4 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定し、それぞれの申請者へ通知した。

年 度	住 居	事 務 所	事業所等	合 計
21	81 件	0 件	9 件	90 件

5 四郷支所解体事務

(1) 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
楠部町 地内	(注1) 四郷支所及び 四郷分団楠部 車庫解体工事	解体撤去 ・ A棟 木造平屋 68.7㎡ ・ B棟 木造平屋 36.9㎡ ・ C棟 木造平屋 11.2㎡ ・ D棟 木造平屋 19.8㎡ ・ 消防本部建物軽量鉄骨造 平屋 35.53㎡	円 (注2) 3,762,689 【契約額】 4,065,600 [戸籍住民課] 3,762,689 [消防本部] 302,911	21. 7. 24	21. 9. 18

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 消防本部と合併施行

戸籍住民課

○ 証明係

1 住民関係

(1) 住民票の写し交付等の状況

区 分	有 料	無 料	計	収 入 金 額	
住 民 票 の 写 し	41,870 件 (4,214)	3,715 件	45,585 件 (4,214)	8,374,000 円	
広域交付住民票の写し	67	0	67	13,400	
戸籍の附票の写し	2,206	3,297	5,503	441,200	
住民票記載事項証明	1,239	156	1,395	247,800	
住民基本台帳カード	1,095	38	1,133	547,500	
住民基本台帳閲覧	38	0	38	7,600	
付 随 証 明	171	12	183	34,200	
印 鑑 登 録 証 明	36,472 (8,546)	164	36,636 (8,546)	7,294,400	
諸 証 明	身 分 証 明	1,005	0	1,005	201,000
	そ の 他	165	207	372	33,000
外国人登録関係証明	586 (52)	282	868 (52)	117,200	
計	84,914 (12,812)	7,871	92,785 (12,812)	17,311,300	

(注1) () は自動交付機による内数。

(注2) 閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件

(注3) 9支所含む。

(2) 住民基本台帳の閲覧団体数 27 団体

(3) 住民基本台帳事務における支援措置者数(平成22年3月31日現在)

(ドメスティック・バイオレンス及びストーカー行為等の被害者の保護のための措置)

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	17 名	26 名	43 名
他市からの支援要請	7	11	18

(注) 住民基本台帳法による住民票発行抑止及び戸籍の附票発行抑止の対象者

(4) 印鑑登録数(平成22年3月31日現在) 88,328 件(伊勢市総数)

(5) 印鑑登録事務処理状況(伊勢市総数)

区 分		件 数
増	登 録	4,845 件
	そ の 他	16
	計	4,861
減	廃 止	529
	亡 失	1,553
	死 亡	1,134
	転 出	1,416
	そ の 他	277
	計	4,909

(6) 住居表示関係証明件数 54 件

(7) 電子証明書の状況

有 料	無 料	計	金 額
490 件	2 件	492 件	245,000 円

2 戸籍関係

(1) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分		件 数			収 入 金 額
		有 料	無 料	計	
全部事項 証 明 (謄 本)	戸 籍	14,416 件	3,030 件	17,446 件	6,487,200 円
	除 籍	11,988	3,192	15,180	8,991,000
	計	26,404	6,222	32,626	15,478,200
個人事項 証 明 (抄 本)	戸 籍	5,382	282	5,664	2,421,900
	除 籍	71	67	138	53,250
	計	5,453	349	5,802	2,475,150
一部事項 証 明	戸 籍	2	18	20	900
	除 籍	0	0	0	0
	計	2	18	20	900
記載事項 証 明	戸 籍	0	0	0	0
	除 籍	0	0	0	0
	計	0	0	0	0
受 理 証 明 等		(9) 160	1	(9) 161	(12,600) 65,450
届書記載事項証明		228	7	235	79,800

閱 覧	0	0	0	0
計	32,247	6,597	38,844	18,099,500

(注1) () は、上質紙使用の内数。

(注2) 9支所含む。

3 外国人登録関係

(1) 外国人登録事務状況(伊勢市総数)

異 動 事 由	件 数	異 動 事 由	件 数	異 動 事 由	件 数
入 国	213 件	登録証再交付	9 件	帰 化	5 件
出 生	4	登録内容変更	612	死 亡	3
日本国籍離脱	0	転 居	67	転 出	259
転 入	104	出 国	264	確 認	142
登録証引替	14	国 籍 取 得	0	そ の 他	37

(2) 外国人登録者国籍別在籍人員(伊勢市総数)

外国人登録者総数 1,115 人 (男 474 人、女 641 人)

世帯数 867 世帯

(単位：人)

国 籍	男	女	計	国 籍	男	女	計
オーストラリア	3	3	6	ニュージーランド	1	0	1
ボリビア	0	1	1	パキスタン	3	0	3
ブラジル	162	107	269	パラオ	1	0	1
カナダ	4	2	6	ペルー	5	5	10
中国	141	289	430	フィリピン	9	60	69
フランス	1	0	1	ポーランド	1	0	1
ホンジュラス	0	1	1	ルーマニア	0	1	1
インド	1	2	3	ロシア	1	0	1
インドネシア	7	4	11	シンガポール	0	2	2
ジャマイカ	0	1	1	スペイン	1	1	2
朝鮮	10	6	16	スリランカ	1	0	1
韓国	77	104	181	タイ	2	28	30
ラオス	2	0	2	トンガ	0	1	1
マレーシア	2	3	5	ミャンマー	1	1	2
モーリシャス	1	0	1	英国	5	2	7
ネパール	16	10	26	米国	14	5	19
オランダ	2	0	2	ベトナム	0	2	2

(3) 郵送請求処理件数

区 分	有 料	無 料	返 戻	合計 (取扱件数)
戸 籍 関 係	7,024 件	4,706 件	107 件 (諸証明関係含む)	11,837 件
住 民 票 関 係	5,341	4,209	616	10,166
外 国 人 登 録 関 係	16	175	1	192
諸証明関係 (身分証明等)	338	6		344
計	12,719	9,096	724	22,539

(注) 有料・無料欄の数値は「1. 住民関係 (1) 住民票の写し交付等の状況」及び
「2. 戸籍関係 (1) 戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

4 自衛官募集事務

自衛隊三重地方連絡部伊勢募集事務所長から依頼を受け、懸垂幕や広報いせを通じ、新規隊員の募集などの事務補助を行った。

なお、市内から11人の入隊者があった。

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるための総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に平成14年7月11日に設立した、関係官庁や市民団体等の代表34名で構成する「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
21. 6. 18	総会及び研修会	平成20年度事業報告、決算報告の承認 平成21年度事業計画（案）、予算（案）の承認 場所 市役所本庁舎4階会議室 研修会「男女共同参画について」 講師 石坂督規（三重大学人文学部准教授）	
7. 13	幹事会	理事会への提出案件協議 場所 市役所本庁舎2-1会議室	
7. 24	理事会	人権尊重啓発ポスター募集事業、人権セミナーについて 場所 市役所東庁舎4-2会議室	
8. 1 ～12. 25	人権尊重啓発ポスター募集事業	市内小中学校児童生徒から479点の応募 秀作9点、入選100点 12. 6 生涯学習センターいせトピアにおいて 表彰、展示 12. 8～17まで伊勢図書館において展示 12. 17～25まで小俣図書館において展示	広報いせ8.1号にて公募
9. 16	第1回 人権セミナー	「差別感情と人権意識」 講師 少年院非常勤講師 大茂富男 場所 ハートプラザみその	参加者45名
10. 9	幹事会	理事会への提出案件協議 場所 市役所本庁舎2-1会議室	
10. 30	理事会	人権セミナー、街頭啓発の取組みについて 場所 市役所東庁舎4-2会議室	

11. 11	第2回 人権セミナー	「犯罪被害者の人権」 講師 犯罪被害者自助グループ緒あしす 主宰 青木聡子 三重県警察本部 警部 増田正人 場所 ハートプラザみその	参加者32名
12. 1 ～12. 14	人権パネル展	市役所1階ロビーにて人権パネル展を開催 生涯学習センターいせトピア及び市役所において懸垂幕を掲出	
12. 4	街頭啓発	12. 4～10の人権週間に合わせ、市民の人権尊重の意識高揚を目的に、市内ショッピングセンター等にて協議会委員による啓発物品配布等の啓発活動を実施	参加者33名 配布数1200個
12. 6	人権講演会	「松本サリン事件からの教訓」 講師 松本サリン事件第一通報者 河野義行 場所 生涯学習センターいせトピア	参加者400名
22. 1. 15	第3回 人権セミナー	「今、子どもたちが危ない！ケータイの落とし穴」 講師 今一色小学校 校長 出口 晃 場所 生涯学習センターいせトピア	参加者32名
2. 12	幹事会	理事会への提出案件協議 場所 市役所東庁舎2-2会議室	
2. 24	理事会	平成21年度事業報告及び決算見込 平成22年度事業計画（案）及び予算（案） 場所 市役所東庁舎4-2会議室	
3. 11	第4回 人権セミナー	「DV（ドメスティックバイオレンス）について」 講師 三重県スクールソーシャルワーカー 中川祥子 場所 ハートプラザみその	参加者24名
随 時	人権啓発冊子等 発行	人権ハンドブックNO. 10（セクハラ・パワハラ） 人権ハンドブックNO. 11（ドメスティックバイオレンス）	各1,000部作成

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 事 業	内 容	備 考
広報いせ人権シリーズ掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、同和問題をはじめ様々な人権問題をテーマに取り上げ、市民の方々に人権について考えていただく機会とした。	毎号掲載
地域人権啓発紙の編集	市民館、教育集会所が中心となって作成する地域人権啓発紙への記事提供及び編集。広報いせ人権シリーズ同様、様々な人権問題をテーマに取り上げ、地域の方々に人権について考えていただく機会とした。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間啓発チラシ等の作成	人権週間・人権尊重宣言都市をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発チラシを作成し、人権尊重宣言都市啓発用シャープペンシルと合わせて、街頭啓発、関係機関窓口等で配布した。	人権週間・人権尊重 宣言都市 チラシ 3,500枚 シャープペンシル 3,500本
人権啓発パンフレット等の作成	市民の人権意識の高揚と人権を侵害する落書き行為などの予防、啓発のためパンフレットを作成した。	パンフレット 3,500部

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行っている。平成21年度については、3件の事例について相談・対応にあたった。（同和問題1件、障がい者問題1件、その他1件）

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や介護福祉講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財 源 内 訳	
			県補助金	市 費
隣保館費 運営事業費	33,890,875 円	33,177,951 円	24,883,000 円	9,007,875 円

(注) 正規職員 1人 給与等 7,281,682 円を含む。

2 事業内容

事業区分		朝熊市民館		大久保市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
相 談 事 業	人権相談	0	0	0	0	1	1	1	1
	職業相談	8	8	27	27	4	4	39	39
	教育相談	3	5	0	0	0	0	3	5
	福祉相談	1	2	0	0	0	0	1	2
	生活相談	1	3	10	11	18	18	29	32
	健康相談	4	4	0	0	0	0	4	4
	その他相談	92	143	14	14	6	8	112	165
講座	介護福祉講座	4	75	—	—	3	82	7	157

3 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町内	(注) 朝熊地区集会所 耐震調査業務委託	鉄筋コンクリート造 平屋建 延べ面積 97.2 m ²	円 1,186,500	21. 8. 7	21.12. 4

(注) 建築住宅課施行

○ 非核・平和推進関係

1 非核・平和第31回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、平成21年8月22日・23日に、ハートプラザみそのにおいて、非核・平和第31回空襲展実行委員会と共催し、空襲展を開催した。

当課の企画として、伊勢市にも戦争の惨禍があったことを再認識する企画として「いせ市の戦跡めぐり」を実施した。

主な催し物・・・講演会、ビデオ視聴コーナー、すいとん汁試食コーナーなど

主な展示物・・・伊勢空襲の記録・写真、焼夷弾、軍用品、戦時中の生活用品など

2 原爆被災写真展

非核・平和第31回空襲展を前に、原爆被爆の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴えるパネル展を8月1日から8月10日まで、市役所1階ロビーにて開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

学校教育課を通じて市内各中学校の生徒代表による広島平和祈念式典への参加にあたって、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。(12校×1,000枚)

また、市役所ロビーにおける原爆被災写真展、非核・平和第31回空襲展の折り鶴コーナーでも利用した。

4 日本非核宣言自治体協議会

市町村合併に伴い脱会扱いとなっていた日本非核平和宣言自治体協議会に、平成18年、新市としての非核平和都市宣言採択に伴い再加盟した。非人道的核兵器の使用は人類と地球の破滅につながる恐れがあり、住民の生命と生活を守ることは自治体の責務であるとの考えから、本会の非核平和都市を宣言した全国の自治体間の協力体制確立と、全国・全世界に核兵器廃絶、恒久平和を呼びかけ、平和の尊さを訴えるという趣旨に賛同して加盟したもので、協議会は核実験を行う諸国への抗議行動や地雷廃絶キャンペーンを行うなど、幅広い活動を展開している。

(非核宣言自治体数 1,479 自治体 うち協議会会員自治体数 261 自治体：平成22年4月現在)

環 境 課

○ 環境全般

1 「伊勢市環境基本計画」の策定

伊勢市環境審議会からの答申を受け、「伊勢市環境基本計画」を策定した。当該計画は、環境に関わる各計画の最上位計画にあたり、各環境分野に係る施策の指針や、地域特性などに応じた環境配慮方針などをまとめている。また、「重点事業」には、1. 伊勢市地球温暖化防止推進計画の策定、2. 家庭用太陽光発電機器設置の推進、3. 天ぷら油のバイオディーゼル燃料としての再利用、4. 生ごみ等のバイオガス利用の検討、5. ごみの収集方法等の統一、6. 生活排水対策ハード整備の推進、7. 遊休農地の利活用、8. 伊勢の環境についての情報発信、PRの推進、を掲げ、計画全体の効果的な推進を図るためにも、特に積極的に取り組むべきものと位置付けている。

なお、伊勢市環境審議会は、伊勢市環境基本条例第11条の規定に基づき設置している。

伊勢市環境審議会委員 会長：朴恵淑（三重大学学長補佐）、副会長：深草正博（皇學館大学教授）、その他委員：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者10人、学識経験を有する者1人、その他市長が必要と認める者6人。

2 環境管理システムの推進

平成20年度からISO14001の規格によらない環境管理システムの運用を開始した。全庁的に取り組む施策と本庁、各総合支所にて取り組む事務活動に大別し、事務活動については、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量の削減に取り組み、毎月、グループウェア掲示板において取り組み実績、取り組みのアイデアを紹介した。結果、公用車燃料使用量のみ年度当初の目標を達成したが、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量については、目標を達成できなかった。

また、平成22年1月に伊勢市エコドライブ実施宣言をし、公用車燃料使用量を対前年度比10%削減することを目標とした。エコドライブ5箇条を全職員に周知し、公用車にエコドライブステッカーを貼った。

一方、全庁的に取り組むものに関しては年度締めで報告書「えこのおと 伊勢市環境報告書（平成20年度）」を作成し、庁内外に周知することで幅広く伊勢市の環境に関心を持ってもらうよう取り図った。

また、この報告書を題材に皇學館大学との包括連携によるスターティングプロジェクトに位置付けられた「環境ミーティング～大学生と語る伊勢の環境～」を開催し、特に市外出身の学生から様々な意見が出された。

津市との都市間連携により、互いの市で運用される環境管理システムを中心に意見交換を行った。

3 環境啓発・環境教育の推進

(1) 環境フェア開催事業

ごみ減量化対策等を市民に周知し、また、いろいろな体験を通して市民の環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得るため、平成 21 年 10 月 11 日（日）に、三重県営サンアリーナ（メインアリーナ及び屋外広場）において、伊勢市まちづくり市民会議環境分科会、伊勢市ごみ問題市民会議及び伊勢河川海域環境美化推進協議会と市の協働で環境フェアを開催した。

なお、伊勢志摩労働者福祉協議会主催の「2009 福祉フェスティバル 勤労者ゆとり T・I・M・E y o u ・ ゆ う ・ 遊 i n g 」と同時開催。

(2) こどもエコクラブ

平成 7 年度から環境省が実施しているこどもエコクラブの運営支援を行った。

平成 21 年度の登録団体数：6 会員数：188 人 サポーター数：8 人

○ 地球温暖化防止対策の推進

1 伊勢市地域新エネルギービジョンの推進

(1) 住宅用太陽光発電システム普及推進事業

家庭でも比較的取り組みやすい家庭用新エネルギーの導入を促進し、地球温暖化防止対策を推進するために、住宅用太陽光発電システム設備設置者に対し補助を行った。

区分	補助金額	件数	支出額
太陽光発電設備	円 60,000	件 80	円 4,800,000
計	—	80	4,800,000

(2) 生ごみ（新エネ）研究会への参加

平成 19 年度策定した「伊勢市地域新エネルギービジョン」により重点事業とされた「バイオマス（生ごみ）活用事業」に関連するものとして、平成 21 年度から伊勢商工会議所に生ごみ（新エネ）研究会が設置され、環境課職員も研究会の一員として参加、事業化の検討をしている。

平成 21 年度には、平成 20 年度に実施した「新エネルギー（バイオマス）詳細調査」の結果に基づき、現在焼却処分をしている生ごみをメタン発酵させ、得られたメタンガスを発電などの燃料として利用する事業に関する経費面での負荷を削減するため、処理対象物、収集方法、処理方式、エネルギー利用、残渣利用などについて項目毎に検討した。

また、環境省中部地方環境事務所とともに、小俣町上久保自治会地域の協力を得て、平成 22 年 1 月 18 日から 2 月 19 日までの 5 週間にわたり、燃えるごみから生ごみを分別収集し、さらに通常 1 週間に 2 回の燃えるごみ収集回数を半減し、分別への協力度を調べる実験を行った。

その結果、重量比で生ごみへの異物混入率が 1 % を割るという非常に高い協力度が示された。

本地域は、実験開始以前からごみ分別に協力的な地域であり、他の地域でも同様の協力度が得られるとは考え難いため、市全域において生ごみ分別を実施した際の協力度を調べるには、さらに他の地域においても実験を行う必要があるものと思われる。

また、今回の調査は冬期に実施したため、生ごみの腐敗が進み難い状態であり、ごみ集積場所等での悪臭は大きな問題にはならなかったが、夏期における分別の実態を調べることも必要であると思われる。

○ 生活排水対策の推進

1 伊勢市生活排水対策推進計画への内容追加

平成 20 年度に策定した「伊勢市生活排水対策推進計画」において、下水道や浄化槽の整備方針等を定めたところであるが、し尿及び浄化槽汚泥の処理に関する事項についての内容追加を行った。

2 合併処理浄化槽設置の促進

(1) 小型合併処理浄化槽設置整備事業補助金

生活排水対策の推進を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助を行った。公共下水道事業認可区域については、平成 13 年度より市単独補助を行っている。

区分		下水道認可区域外			下水道認可区域内			計	
種類	人槽	補助 基準額	補助 基数	補助 金額	補助 基準額	補助 基数	補助 金額	補助 基数	補助 金額
一般	5	千円 332	基 129	千円 42,828	千円 110	基 20	千円 2,200	基 149	千円 45,028
	7	414	127	52,578	138	10	1,380	137	53,958
	10	548	16	8,768	182	0	0	16	8,768
高度	5	444	39	17,316	—	—	—	39	17,316
	7	486	39	18,954	—	—	—	39	18,954
	10	576	2	1,152	—	—	—	2	1,152
	50	576	1	576	—	—	—	1	576
計		—	353	142,172	—	30	3,580	383	145,752

3 生活排水対策用品配布事業

家庭でできる生活排水対策推進のため、持続効果の高い 1 mm 目三角コーナーを一部有償（300 円）で希望者に配布し、公共用水域の汚濁負荷量の軽減と生活排水の意識啓発を行った（配布個数 172 個）。

4 伊勢河川海域環境美化推進協議会

市民の生活排水対策における意識の高揚を図るための啓発事業を伊勢河川海域環境美化推進協議会とともに実施した。

①実施事業

内 容	実施日	参加者数
第 52 回全国花いっぱい伊勢大会への啓発ブース出展	H21. 5. 30 H21. 5. 31	約 800 人

第14回勢田川七夕大そうじ	H21. 7. 5	約3,100人
		空き缶1,212個 空きビン280個他
水生生物による水質調査	H21. 8. 19	2人
伊勢市環境フェア	H21. 10. 11	約20,000人
大湊小学校文化祭への啓発ブース出展	H21. 10. 31	委員5人参加
いせトピア新春まつりにおける啓発活動	H22. 1. 10	約200人
エコクッキング及び生活排水啓発講習会	H22. 2. 2	51人
	H22. 2. 9	

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の実態を把握するため、県環境森林部により厚生中学校に設置（昭和63年3月から測定開始）されている大気汚染常時監視測定局で二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等の常時自動測定調査を行った。

2 水質調査

河川や海域の水質汚濁の防止を図るとともに汚濁状態を把握するため、定期測定計画を定め、河川や海域の水質及び主要事業所の排水を調査した。

(1) 21年度調査実施状況

区分	河川水質 (10河川)	海域	幹線排水路 水質	勢田川水質	河川界面 活性剤調査
地点	25	7	4	5	30
項目	16	6	10	16	1
回数	4	4	4	12	2

(2) 河川BOD経年変化

年 度	16	17	18	19	20	21	環境基準
	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
宇治橋（五十鈴川）	0.8	0.7	0.6	0.9	0.7	0.5	1 mg/l 以下
堀割橋（五十鈴川）	1.0	1.0	0.8	1.1	0.8	0.8	2 mg/l 以下
勢田大橋（勢田川）	▲7.0	3.8	▲6.7	4.1	4.1	2.9	5 mg/l 以下
度会橋（宮川）	0.9	▲1.1	0.7	0.6	0.6	0.5	1 mg/l 以下
大野橋（外城田川）	1.7	2.5	1.5	2.1	1.6	1.4	3 mg/l 以下
豊浜橋（外城田川）	2.3	1.9	1.6	1.5	1.6	1.4	5 mg/l 以下
有滝橋（江川）	1.0	1.4	0.9	0.9	0.8	0.6	—
大堀川橋（大堀川）	1.7	2.9	1.5	1.5	1.6	1.3	—
野垣外橋（汁谷川）	2.3	3.1	0.8	1.6	1.1	1.1	—

(注) ▲は、環境基準オーバーを表す。数値は年4回の平均値

ただし、勢田大橋については年12回の平均値

(3) 海域COD経年変化

年 度	16	17	18	19	20	21	環境基準
	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
東 大 淀 沖	1.4	0.2	0.7	1.2	1.1	1.2	2 mg/l 以下
村 松 沖	0.8	0.5	0.8	0.8	1.2	1.3	3 mg/l 以下
豊 北 漁 港	0.8	0.7	0.9	1.0	1.1	1.4	3 mg/l 以下
大 湊 沖	0.5	0.5	0.2	0.7	1.1	1.6	3 mg/l 以下
宇 治 山 田 港	0.6	1.0	0.8	0.8	0.7	1.1	3 mg/l 以下
宇 治 山 田 港 沖	0.6	0.9	0.5	0.6	1.0	1.0	3 mg/l 以下
笹 笛 川 地 先	—	—	—	0.9	1.4	1.5	3 mg/l 以下

(注) 数値は年4回の平均値 (17年度は3回の平均値)

3 公害苦情等処理状況

相隣関係的な苦情が多く、21年度の苦情処理結果は、大気汚染32件、水質汚濁9件、騒音18件、悪臭23件、廃棄物投棄4件、その他10件、合計96件であった。

4 公害関係法令に基づく各種届出受理業務

生活環境を保全し、市民生活の健康保護のため、公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また特定建設作業に対する各種届出受理業務を行った。

特定施設に関する設置等の届出については、以下のとおりである。

区 分		設置届出数	廃止届出数
大気汚染防止法	ばい煙	3件	5件
	粉じん	1	1
水質汚濁防止法		10	10
騒音規制法		0	0
振動規制法		2	0
三重県生活環境の保全に関する条例関係	ばい煙	0	4
	粉じん	1	1
	騒音	3	2
	振動	1	1
	揚水設備	2	0
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0
計		23	24

特定建設作業に関する届出については、以下のとおりである。

区 分	法律	条例
騒音	42件	22件
振動	22	10

○ 衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を図るため、希望自治会に煙霧消毒機械貸出（15台保有）を行った。また、ハチ防護服貸出を行った。

種別	区分	対象	件数	薬剤量	備考
煙霧消毒 (油剤)	機械貸出	自治会	件 39	0 1,066	
		その他	0	0	
	市職員実施	公共施設等	24	176	
		私立保育園	0	0	
		災害復旧他	0	0	

2 不法投棄防止対策事業

(1) パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄防止に対する啓発看板の作成及び配布とともに、市内4箇所に設置した監視カメラ(移動式)で、不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 不法投棄の通報への対応

市民の通報を受け、現場で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発の防止に努めた。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。なお、投棄場所が私有地の場合は、所有者に連絡して対応を求めた。

不法投棄物：テレビ218台、冷蔵庫35台、洗濯機41台、エアコン4台、タイヤ194本 他

3 伊勢公衆浴場組合に対する支援

市民の公衆衛生の確保を図るため、公衆浴場組合補助金に替わる支援策として、母の日、父の日、敬老の日における集客用の物品提供を行った。(平成21年度公衆浴場数8件)

	物品	購入額
母の日(5月11日)	トイレットペーパー 1,380個	円 68,103
父の日(6月15日)	T字剃刀 900本 石鹸 3,600個	69,075
敬老の日(9月15日)	ボックスティッシュ 450箱 浴用タオル(白) 320枚	69,611
計	—	206,789

その他、焚きつけ燃料の支援策として廃食用油回収業務を提供し、回収した廃食用油の有効活用を図っている。

4 放置自動車対策事業

放置自動車の発生を防止して、地域的美観を保持し良好な都市機能を維持するため、伊勢市放置自動車の発生の防止及び適正処理に関する条例（平成 17 年 11 月 1 日制定、同日施行）、市道、公園、市営住宅等の市有地に放置された自動車に対し措置を講じた。条例の運用は公共用地管理者（各課）が行う（処分経費は環境課で予算計上）。民有地については警察等と協力して助言指導を行う。（21 年度放置自動車処分台数 1 台）。

5 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助事業

高麗広地区においては上水道施設がないことから、良質で安全な飲料水の確保のために、自家用井戸や浄水施設等を設置した当該地区住民に対し補助を行っている。（21 年度補助金交付件数 0 件）。

○ 墓地関係

1 市営墓地管理委託業務

市が管理する大世古墓地及び大湊墓地について、管理及び清掃業務委託を行い、墓地環境の整備を図った。

墓 地 名 等	委 託 先	委 託 料
大世古墓地管理	大世古 3 丁目 北村日出子	円 156,000
大世古墓地清掃	社団法人 伊勢市シルバー人材センター	1,500,000
大湊墓地管理及び清掃	大湊町寿会老人クラブ	420,000
計	—	2,076,000

2 市営墓地整備事業

市営大世古墓地内に山積みされた不要な墓石が崩れ等の危険性があるので撤去するとともに、墓地と隣地との境界にフェンスを設置した。

また、市営大世古墓地の掃除用具や修繕道具を納める物置が手狭なため新たに増設した。

① 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
大世古 3 丁目地内	(注) 大世古墓地障壁設置 工事	障壁柵工 L = 17.85m	円 690,900	22. 3. 17	22. 3. 29

(注) 監理課施行

② 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
大世古 3 丁目地内	(注) 大世古墓地墓石撤去 業務委託	撤去工 一式	円 2,782,500	21. 12. 24	22. 2. 16

(注) 監理課施行

③備品購入

施行場所	物品名	購入概要	金額	着手	完了
大世古 3 丁目地内	鋼製物置設置	プレハブ物置 1 棟 延床面積=9.27 m ²	円 802,400	22. 3. 19	22. 3. 30

3 共同墓地整備費補助金

共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し費用の一部を補助した。

墓地名	事業費	補助金	摘要
浦口墓地	円 4,074,000	円 2,716,000	参道改修及び墓地内の雑木林、竹林の伐採
西之坂共同墓地	639,000	424,000	墓地通路の補修及びごみ集積場の改修等
一誉坊墓地	4,578,525	3,000,000	参道改修、階段設置及びごみ捨て場撤去等
土路・西条共同墓地	445,995	297,000	排水工事及び路盤工事
明野共同墓地	250,000	166,000	お堂の屋根等の補修
新村墓地	315,000	210,000	墓地進入路の舗装
今一色墓地	157,200	104,000	墓地通路の側溝の改修
鹿海町墓地	570,150	380,000	墓地内の木の伐採
馬瀬町共同墓地	1,848,500	1,232,000	フェンスの設置等
二見町江墓地	1,995,000	1,330,000	参道の整備及び転落防止手摺りの設置
朝熊町墓地	5,495,700	3,000,000	給排水口（流し台）の増設及び手摺りの新設
中村町共有墓地	4,449,186	2,966,000	墓地補強及びブロック塀改修
計	24,818,256	15,825,000	

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づく畜犬登録及び狂犬病予防注射を実施している。飼い犬管理システムによる情報管理を行い、平成 22 年 3 月 31 日現在の登録件数は 8,959 頭の登録がある。なお、平成 21 年度の新規登録件数は 601 頭、狂犬病予防注射件数 5,807 頭（うち獣医師等による接種頭数 3,630 頭）であった。

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を図るため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区分	犬 雄	犬 雌	猫 雄	猫 雌	計
補助基準額	3,000 円	4,000 円	2,500 円	3,500 円	—
補助件数	96 件	86 件	118 件	207 件	507 件
補助金額	288,000 円	344,000 円	295,000 円	724,500 円	1,651,500 円

○ ごみ関係

1 「伊勢市ごみ処理基本計画」の策定

伊勢市廃棄物減量等推進審議会からの答申を受け、ごみ処理に係る施策方針などについてまとめた、「伊勢市ごみ処理基本計画」を策定した。当該計画では、“私たちからはじめよう！ごみをゴミにしないまち・伊勢 ～市民・地域組織・事業者・行政がともにごみゼロを目指して～”を基本理念に掲げ、実現のための施策をまとめている。特に、「生ごみの減量化・資源化」を重点施策に掲げ、各主体が「生ごみ等のバイオガス利用の検討」や「生ごみの水切り及び乾燥」などに取り組み、積極的な推進に努める。

なお、伊勢市廃棄物減量等推進審議会は、伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第8条第1項の規定に基づき設置している。

伊勢市廃棄物減量等推進審議会委員 会長：大串兎紀夫（皇學館大学教授）、副会長：宮岡邦任（三重大学准教授）、その他委員：学識経験者1人、市民の代表1人、事業者等の代表4人、地域住民組織の代表3人、再生資源事業者の代表1人、関係行政機関の職員1人。

2 合併調整に係るごみ処理の統一化の検討

平成17年11月1日の市町村合併後、5年間に於いて統一を目指すごみの排出方法回収等について各地域との調整を進めた。併せて旧伊勢市、御菌町での燃えるごみの集積化を進めた。

3 ごみの適正処理

(1) ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び過去3年間の処理経費の推移は次のとおりであった。

①過去5年間のごみ排出量の推移

年 度	17年度	18年度	対前年度増減	19年度	対前年度増減	20年度	対前年度増減	21年度	対前年度増減
燃えるごみ	45,155 ^t	46,643 ^t	3.3%	44,655 ^t	△4.3%	44,594 ^t	△0.1%	44,015 ^t	△1.2%
金属・その他	1,921	1,855	△3.4	1,310	△29.4	1,335	1.9	1,389	4.0
粗大ごみ	2,159	2,267	5.0	2,080	△8.2	1,988	△4.4	1,618	△18.6
小 計	49,235	50,765	3.1	48,045	△5.4	47,917	△0.3	47,022	△1.8
資 源 物	7,855	7,821	△0.4	7,720	△1.3	6,977	△9.6	6,608	△5.2
投棄場搬入量	1,057	974	△7.9	986	1.2	888	△9.9	955	7.5
合 計	58,147	59,560	2.4	56,751	△4.7	55,782	△1.7	54,585	△2.1

(注) 対前年度増減(%) = (当該年度 - 前年度) / 前年度 × 100

②ごみの各平均排出量

年 度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
各年度末人口 (人)	136,924	135,944	135,507	134,870	134,049
各年度末世帯数 (世帯)	52,183	52,523	52,295	53,255	53,406
総ごみ排出量 (t)	58,147	59,560	56,751	55,782	54,585
1日平均排出量 (t/日)	159.31	163.18	155.48	153.83	149.54
1日1人平均排出量 (g/人・日)	1,163.5	1,200.3	1,147.4	1,133.1	1,115.6
1日1世帯平均排出量 (g/世帯・日)	3,052.8	3,106.8	2,973.2	2,869.7	2,800.2

③処理経費の推移

年 度	18年度	19年度	20年度
処 理 経 費	円 1,871,437,000	円 1,625,423,000	円 1,615,583,000
ごみ1t当りの経費	31,421	28,641	29,598
1人当りの経費	13,766	11,995	12,053
1世帯当りの経費	35,631	31,082	30,251

(注) 処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理実態調査で報告したものをいい、人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金(運営経費(うち建設改良費)、建設経費及び公債費除く。)、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を加えたもの。

(2) 資源物の回収量及び売却額

市内に設置した資源ステーション・資源拠点回収ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合等の中間処理施設を経由し、ごみの資源化を図った。また、回収量(資源化量)の推移は、次のとおりであった。

①資源びん

年 度	回収量及び売却額	無 色	茶 色	その他の色	計
19年度	回収量(kg)	532,430	461,430	174,080	1,167,940
	売却額(円)	279,525	242,250	△111,064	410,711
20年度	回収量(kg)	495,060	431,370	150,610	1,077,040
	売却額(円)	259,906	226,469	△100,909	385,466
21年度	回収量(kg)	471,540	409,390	158,660	1,039,590
	売却額(円)	495,117	214,930	△189,757	520,289

(注) 売却額△表示は、委託単価(逆有償)を示す。また、回収量には、リサイクルプラザへの直接持込分も含む。

②紙類等

年度	回収量 及び 売却額	新聞	雑誌類	段ボール	紙パック		綿製品 (布類)	計
					(1ℓ)	(200ml)		
19 年度	回収量 (kg)	1,284,100	2,378,350	885,180	31,370	450	103,260	4,682,710
	売却額 (円)	11,407,907	11,012,235	6,152,378	180,315	450	98,950	28,852,235
20 年度	回収量 (kg)	1,375,280	1,708,660	877,140	32,420	670	88,770	4,082,940
	売却額 (円)	14,785,438	12,053,542	7,892,931	188,183	670	85,909	35,006,673
21 年度	回収量 (kg)	1,156,840	1,611,070	844,620	30,190	70	152,670	3,795,460
	売却額 (円)	4,853,032	3,627,690	2,816,914	194,003	82	161,112	11,652,833

③ペットボトル

年度	回収量	売却額	売却先
19年度	kg 328,149	円 689,112	(有) ジェイピー化工
20年度	335,382	8,803,777	(有) シーピーアール
21年度	327,170	2,518,577	(有) ジェイピー化工 (有) シーピーアール

④プラスチック製容器包装

年度	回収量	委託料	委託先
19年度	kg 1,036,300	円 2,667,437	(有) 山川商事 J F E環境(株)
20年度	1,006,760	3,024,308	(有) 山川商事
21年度	974,870	3,202,448	(有) 山川商事

⑤ガラス類

年度	回収量	再商品化委託料	委託先
19年度	kg 110,720	円 1,604,333	トーエイ(株)
20年度	131,910	1,800,572	(株) ヤマムラ
21年度	138,830	1,851,298	トーエイ(株)

(注) ガラス類とはガラス製の食器・化粧びん・板ガラスなど(資源びんを除く)

⑥陶磁器類

年 度	回収量	再商品化委託料	委 託 先
19 年度	kg 169,510	円 3,559,710	(株) ヤマムラ
20 年度	197,230	4,763,105	(株) ヤマムラ
21 年度	210,160	4,411,048	トーエイ (株)

⑦アルミ缶・スチール缶（二見町・小俣町分）

年 度	地域	回収量	再商品化売却額	売 却 先
19 年度	二見町	kg 10,330	円 619,800	(株) 幸伸
	小俣町	50,965	2,015,140	(有)いせ梅田
20 年度	二見町	9,210	489,678	(株) 幸伸
	小俣町	51,373	1,486,721	(有)いせ梅田

(注) 二見町はアルミ缶のみ、小俣町はアルミ缶・スチール缶の合計
平成 21 年度から金属その他と回収。

⑧資源化率の推移

年 度	19 年度	20 年度	21 年度
資源化率 (%)	19.55	18.69	18.70

(注) 資源化率 (%) = (再生資源回収団体の資源回収量 + 資源回収量) / (再生資源回収団体の資源回収量 + ごみ総排出量) × 100

※資源回収量 = (市で回収した資源物量) + (粗大ごみ処理施設で選別した鉄・アルミ回収量)

4 3Rの推進

(1) マイバッグ持参・レジ袋有料化の取り組み

地球温暖化防止と循環型社会構築を目指し、市民・事業者・行政が連携・協力して、レジ袋の有料化の取り組みを行った。

①ええやんか！マイバッグ（レジ袋有料化）検討会の開催

平成 21 年 10 月 1 日（木）

参加者 スーパーマーケット事業者（8 事業者）、ドラッグストア事業者（3 事業者）、伊勢市商店街連合会、市民団体（6 団体）、協力団体（3 団体）

②レジ袋有料化の啓発活動の実施

平成 21 年 10 月 11 日（日）

内 容 環境フェアにて、ええやんか！マイバッグ（レジ袋有料化）検討会活動の説明・
展示

(2) 指定袋制度運営事業

ごみの減量及び資源化を推進するため、燃えるごみの指定ごみ袋制を実施した。

①種 類 3 種類（大袋 45 ℓ、中袋 30 ℓ、小袋 15 ℓ）

高密度ポリエチレン製、半透明

②販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売

（平成 22 年 3 月 31 日現在 販売店登録数 382 店舗）

③販売価格 希望小売価格制度にて販売

市の提示する希望小売価格（大袋 83 円、中袋 60 円、小袋 41 円：税別）

④委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市地内	伊勢市指定ごみ袋 納入業務委託	伊勢市指定ごみ袋の 納入、保管、配送、 受け払い、配送量報 告及び数量管理報告 業務	円 109,735,500 (2 箇年契約)	20. 2. 1	22. 3. 31
計	1 件	—	109,735,500	—	—

(3) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した者に対し補助金を交付した。

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
19 年度	件 171	基 173	円 4,385,300
20 年度	200	215	4,901,500
21 年度	137	139	3,469,500

(4) 資源化実験事業

ごみの減量及び資源化を図るため、特に生ごみの更なる減量・資源化を推進し、家庭から排出される生ごみの資源化への可能性を探るため、平成 16 年 2 月よりモデル地区に生ごみ処理機を貸与し、地域住民による生ごみ資源化のデータ収集を行った。

①貸与自治会数 1 自治会（津村団地自治会）

②貸与基数 1 基

③利用状況

年 度	生ごみ 投入量	取出し堆肥量 (一次処理物)	堆肥化率 (減量化率)	維持管理等 費用	削減された 焼却費用
	kg	kg	%	円	円
19年度	3,668	653	17.80	323,688	45,604
20年度	3,444	702	20.38	253,114	42,819
21年度	2,002	242	12.09	267,406	22,621

④取出し堆肥（一次処理物）の利用先

津村団地の住人が住宅の庭の植木や家庭菜園、近隣の農家において利用した。

⑤費用対効果について

維持管理等の費用に 267,406 円掛かったのに対し、生ごみ焼却費用が 22,621 円削減された。

(注) 21年度の削減された焼却費用については、平成 20年度伊勢広域環境組合可燃ごみ処理単価 11,299 円/t で算出した。

(5) 廃食用油回収事業

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象に廃食用油を回収し、再生利用を行った。

①廃食用油回収容器設置場所 35 箇所（拠点ステーション・公共施設ほか）

②公共施設 44 箇所（小・中学校、中学校給食共同調理場ほか）

③回収状況

年 度	廃食用油回収量(ℓ)
21年度	21,978

5 排出環境の整備

(1) 資源拠点ステーション設置事業

資源ごみの分別回収の充実に伴い、回収日まで家庭での保管を緩和することと、ごみの減量・資源化を更に推進するため、資源拠点ステーションを設置した。

①整備状況

整備年度	施設名	施設規模	所在地
14年度	伊勢中央資源拠点ステーション	m ² 144.60	宮後 2 丁目 630-8
15年度	宇治資源拠点ステーション	34.60	宇治浦田 2 丁目 469-50
	船江資源拠点ステーション	38.34	船江 4 丁目 1434-1
16年度	中島資源拠点ステーション	38.83	中島 2 丁目 1215
	城田資源拠点ステーション	38.83	中須町 493-2
	佐八資源拠点ステーション	38.34	大倉町 1553-311
17年度	北浜資源拠点ステーション	19.10	村松町 3-1
	沼木資源拠点ステーション	21.17	上野町 1215-1
	いせトピア資源拠点ステーション	53.25	黒瀬町 562-12
	宮本資源拠点ステーション	26.96	前山町 355-4

18年度	東豊浜資源拠点ステーション	m ² 31.85	東豊浜町 1475
	大湊資源拠点ステーション	44.02	大湊町 98-5
19年度	明倫資源拠点ステーション	34.63	尾上町 219
	神社資源拠点ステーション	34.63	神社港 420-6
	厚生資源拠点ステーション	22.78	八日市場町 547
20年度	早修資源拠点ステーション	58.38	常磐 1丁目 1054-1
21年度	二見資源拠点ステーション	159.72	二見町三津 1201-71
	小俣資源拠点ステーション	77.30	小俣町本町 498
	御菌資源拠点ステーション	318.00	御菌町小林 1595

②工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町本町地内	(注) 小俣資源拠点回収ステーション設置工事	プレハブ倉庫 4連棟 42.33 m ² ゴミ収納庫 4連棟 18.78 m ²	円 2,857,050	22. 1.29	22. 3.15

(注) 都市計画課施行

(2) 資源ステーション設置事業

資源ごみの分別回収の充実に伴い、資源ステーションの環境整備を行った。

①工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
御菌町高向地内	(注1) 資源ステーション整備工事	施工延長 L=18.0m 擁壁工 L=20.0m フェンス工 L=26.6m 舗装工 一式	円 1,539,300	21.10.23	21.12.21
磯町地内	磯町資源物回収ステーション目隠しフェンス設置工事	フェンス工 L=4.8m	525,000	21.12. 7	22. 1.19
船江4丁目地内	(注2) ごみ集積所及び資源ステーション(船江4丁目)開設工事	施工延長 L=8.0m 擁壁工 L=15.8m 張コンクリート工 A=36 m ² 防護柵工 L=12.0m 物置 1棟	1,723,050	21.12.25	22. 3. 5
御菌町長屋地内	(注3) 長屋地区資源ステーション整備工事	施工延長 L=12.0m スラブ据付 10枚	1,089,900	22. 1.12	22. 3.15

(注1) 上水道課施行

(注2) 維持課施行

(注3) 基盤整備課施行

②備品購入

施行場所	物品名	購入概要	金額	着手	完了
磯町内	磯町資源ステーション	プレハブ倉庫 2 棟 延床面積 16.51 m ²	円 787,500	21.12.9	22.2.3
御菌町高向地	御菌町資源ステーション	プレハブ倉庫 1 棟 延床面積 6.74 m ²	866,250	21.12.24	22.2.20
御菌町上長屋地		プレハブ倉庫 1 棟 延床面積 6.74 m ²			
御菌町小林地		プレハブ倉庫 1 棟 延床面積 6.74 m ²	942,900	22.2.3	22.3.29
御菌町長屋地		ごみ収納庫 1 棟 延床面積 9.47 m ² ごみ収納庫 1 棟 延床面積 9.47 m ²			
二見町山田原地	二見町資源ステーション	プレハブ倉庫 1 棟 延床面積 6.45 m ²	449,400	22.2.18	22.3.18
二見町西地		プレハブ倉庫 1 棟 延床面積 6.45 m ²			
二見町溝口地		プレハブ倉庫 1 棟 延床面積 6.74 m ²	283,500	22.3.11	22.3.26

(3) 廃棄物集積所設置補助事業

燃えるごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保すること目的として、廃棄物集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。

年度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
19年度	件 31	基 92	円 11,426,000
20年度	34	133	17,234,000
21年度	87	300	61,464,806

(注) 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(4) 廃棄物投棄場管理事業

①搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊勢		二見		小俣		御菌		計	
	車数	搬入量	車数	搬入量	車数	搬入量	車数	搬入量	車数	搬入量
市民自己搬入分	車 196	kg 109,800	車 86	kg 13,650	車 293	kg 62,900	車 8	kg 3,360	車 583	kg 189,710
公共関係搬入分	792	523,300	15	6,000	98	160,630	82	160,720	987	850,650
計	988	633,100	101	19,650	391	223,530	90	164,080	1,570	1,040,360

②廃棄物投棄場使用（搬入）許可件数

区 分	伊勢		二見		小俣		御菌		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
許可証交付	件 137	円 166,870	件 49	円 43,200	件 293	円 127,200	件 8	円 5,450	件 487	円 342,720
計	137	166,870	49	43,200	293	127,200	8	5,450	487	342,720

③委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進、廃棄物投棄場を適正管理するために下記の委託事業を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町 地内ほか	伊勢市廃棄物投棄場の地下水等水質調査	10箇所	円 1,459,500	21.11.5	22.3.3
小俣町新村 地内	小俣町廃棄物投棄場境界測量業務委託	用地測量 1.4ha	1,197,000	22.1.25	22.3.15
	小俣町廃棄物投棄場ガレキ類再資源化業務委託	引取量 ガレキ類 185.10t	1,050,000	22.1.27	22.3.15
朝熊町 地内	ガレキ類再資源化業務委託	引取量 ガレキ類 146.94t 瓦類 60.31t	1,077,466	22.2.3	22.3.1

6 啓発・教育の推進

(1) ごみ問題対策啓発事業

ごみ減量及び資源化対策に対する市民の意識高揚を図るため、伊勢市ごみ問題市民会議に啓発事業を委託した。

実施事業

内 容	実 施 日	参加者数等
ごみゼロの日早朝清掃	H21. 5.30	約 400 人
第 52 回全日本花いっぱい伊勢大会への啓発ブース出展	H21. 5.30 H21. 5.31	約 800 人
伊勢市環境フェア	H21. 10. 11	約 20,000 人
ごみゼロ早朝啓発活動	H22. 3. 20	委員 15 人参加

(2) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして 174 自治会より推薦された 377 名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、推進員業務研修を行い、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(3) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・P T A 等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登 録 団体数	交 付 団体数	回 収 量				奨 励 金 交 付 額
			紙 類	布 類	缶 類	計	
19 年度	団体 153	団体 126	kg 2,675,009	kg 33,533	kg 58,004	kg 2,766,546	円 16,637,520
20 年度	163	133	2,744,867	35,304	64,189	2,844,360	17,099,080
21 年度	163	139	2,634,908	45,140	73,174	2,753,222	16,547,660

(注) 1 kg 当たり 6 円、リターナブルびんについては 1 本当たり 3 円の奨励金を交付した。

(4) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する自治会等を対象に、伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施した。(説明会開催回数 延べ 13 回、参加人員 延べ 283 人)

(5) ごみカレンダーの作成

ごみ収集日、ごみの分け方・出し方等の啓発内容を合わせて記載した「平成 22 年度版ごみカレンダー」を広報いせ 3 月 1 日号と同時に全戸に配布した。(22 年度版作成部数合計 61,000 部)

なお、平成 21 年度版まで、旧伊勢市版、二見町版、小俣町版、御薗町版で分けて作成していたが、一冊にまとめて作成した。

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合で、し尿等処理、火葬業務及びごみの適正処理を衛生的、効率的に行った。

1 21 年度分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分				備 考
	し 尿	斎 場	ご み	計	
共通経費	千円 2,937	千円 512	千円 6,569	千円 10,018	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	200,189	34,926	447,747	682,862	実績割 100%
建設経費	14,873	1,246	196,982	213,101	平等割 10%、人口割 90%
公債費	6,390	—	194,199	200,589	元利補給金
清掃事業所負担金	—	—	2,056	2,056	
計	224,389	36,684	847,553	1,108,626	

2 21 年度クリーンセンター し尿・浄化槽汚泥投入量及び処分量

月分	伊 勢 市 分	他 町 分	計
	0	0	0
4	5,157,230	892,600	6,049,830
5	4,348,520	931,370	5,279,890
6	4,661,250	966,340	5,627,590
7	4,476,860	1,082,220	5,559,080
8	4,106,650	1,363,270	5,469,920
9	3,923,980	1,061,790	4,985,770
10	4,710,260	1,221,530	5,931,790
11	3,839,740	733,670	4,573,410
12	4,988,660	883,720	5,872,380
1	3,441,850	736,610	4,178,460
2	4,232,390	795,370	5,027,760
3	4,850,450	986,150	5,836,600
計	52,737,840	11,654,640	64,392,480

3 年度別クリーンセンター処理実績の推移

区 分	19 年度	20 年度	21 年度
	K0	K0	K0
伊勢市分	57,018	55,315	52,738
他 町 分	10,228	10,441	11,655
計	67,246	65,756	64,393

※市内し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 10 業者、許可車両台数 32 台（浄化槽専用 4 台）

4 21 年度斎場利用状況

区 分	市内	管内他町	管外	計
12 歳以上の者	件 1,271	件 450	件 72	件 1,793
12 歳未満の者	6	0	0	6
死 産 児	12	6	4	22
計	1,289	456	76	1,821
胞衣汚物	39	3	0	42
霊安室利用	3	0	0	3

5 年度別斎場利用実績の推移（胞衣汚物及び霊安室利用を除く。）

区 分	19 年度	20 年度	21 年度
市 内	件 1,301	件 1,251	件 1,289
管内他町	435	414	456
管 外	67	59	76
計	1,803	1,724	1,821

6 各処理施設概要

施 設 名	所 在 地	型 式	公称処理能力
ごみ処理施設	西豊浜町 653 番地	全連続燃焼式ストーカー炉	240 t / 24 h
粗大ごみ処理施設	〃	横型回転式破砕機	30 t / 5 h
		剪断式破砕機	15 t / 5 h
リサイクルプラザ	〃	その他プラスチック製 容器包装圧縮梱包設備	24 t / 5 h
		びん選別設備	10 t / 5 h
クリーンセンター	植山町 245 番地 1	高負荷脱窒素＋高度処理	270 k0 / 24 h
斎 場	度会郡玉城町世古 395 番地 5	火葬棟(ホール、収骨室、火 葬炉 6 基、汚物炉 1 基)、待 合等	—

清 掃 課

1 収集概要

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、金属・その他、資源物、粗大ごみ及び小動物の死体）を車両 55 台、収集人員 86 名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、4 市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、ハッピーマンデー（年 4 回：海の日、敬老の日、体育の日、成人の日）、年末（12 月 29 日）について臨時収集を行った。

2 収集体制

(1) 収集車両

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、金属・その他、資源物、粗大ごみ及び小動物の死体）の収集を 55 台の車両で行った。

5 t パッカー	4 t パッカー	3 t パッカー	2 t パッカー	2 t ダンプ	2 t パワー リフト
1 台	2 台	7 台	24 台	4 台	3 台

2 t トラック	1 t トラック	軽 四 ダンプ	軽 四 トラック	小型特殊 四 輪 車	計
3 台	3 台	6 台	1 台	1 台	55 台

(2) 購入車両

耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図っている。平成 21 年度については、地球に優しい低炭素社会に向けたクリーンエネルギー自動車（ハイブリッド車）を購入した。

購入車両

4 t パッカー 2 台

3 t パッカー 6 台

(3) 収集人員

一般廃棄物（燃えるごみ、金属・その他、資源物、粗大ごみ及び小動物の死体）の収集を 86 名の人員で行った。

職員	嘱託職員	計
名	名	名
81	5	86

(4) 委託関係

市内のうち、旧伊勢市地区については資源物の収集補助を伊勢市シルバー人材センター、粗大ごみ収集の一部を民間業者に委託、資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）及びプラスチック製容器包装の収集は、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた合理化事業計画（旧伊勢市地区）に基づき、旧伊勢市内の3業者に収集運搬の業務を委託した。

二見町地区については燃えるごみ、金属・その他、資源物の収集補助業務を伊勢市シルバー人材センターに委託した。

小俣町地区については資源びん、ペットボトル、アルミ缶、スチール缶の収集業務及びごみ集積所等の排出指導、不法投棄パトロール業務を伊勢市シルバー人材センターに委託、プラスチック製容器包装、ガラス類、陶磁器類、蛍光灯及び粗大ごみの収集は、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた合理化事業計画（伊勢市小俣町地区）に基づき、小俣町地内の2業者に収集運搬の業務を委託した。

御菌町地区については燃えるごみ、金属・その他、資源びん、ペットボトル、ガラス類、陶磁器類の収集を民間業者に委託した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
旧伊勢市地内	資源物回収等業務委託	資源物の回収及び回収袋の設置、回収袋の洗浄及び補修業務委託 一式	円 6,214,132	21. 4. 1	22. 3. 31
〃	資源物（資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装）収集運搬業務委託	資源物（資源びん、紙・布類、プラスチック製容器包装）収集運搬業務委託 一式	51,376,500	21. 4. 1	22. 3. 31
〃	資源物（資源びん、紙・布類）収集運搬業務委託	資源物（資源びん、紙・布類）収集運搬業務委託 一式	35,070,000	21. 4. 1	22. 3. 31

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
旧伊勢市地内	資源物（プラスチック製容器包装）収集運搬業務委託	資源物（プラスチック製容器包装）収集運搬業務委託一式	円 18,984,000	21. 4. 1	22. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ収集運搬業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運搬業務委託一式	1,496,250	21. 4. 1	22. 3. 31
二見町地内	二見地区資源物回収業務（二見美化センター業務補助）委託	一般廃棄物（燃えるごみ、金属・その他）及び資源物（資源びん、紙・布類、アルミ缶等）収集補助業務委託一式	4,591,825	21. 4. 1	22. 3. 31
小俣町地内	小俣地区資源物回収業務委託	資源物（資源びん、ペットボトル、アルミ・スチール缶）収集運搬委託一式	6,408,768	21. 4. 1	22. 3. 31
〃	一般ごみ集積所排出指導及びパトロール業務委託	ごみ集積所及び資源ステーションの排出指導、整理整頓、不法投棄防止パトロール業務委託一式	1,641,650	21. 4. 1	22. 3. 31
〃	資源物（陶磁器類、ガラス、蛍光管）、粗大ごみ収集運搬業務委託	資源物（ガラス類、陶磁器類、蛍光管）、粗大ごみ収集運搬業務委託一式	7,144,200	21. 4. 1	22. 3. 31
〃	資源物（プラスチック製容器包装）収集運搬業務委託	資源物（プラスチック製容器包装）収集運搬業務委託一式	12,862,500	21. 4. 1	22. 3. 31

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
御 菌 町 地 内	一般廃棄物収集運搬業務委託	燃えるごみ、金属・その他及び資源物（資源びん、ペットボトル、ガラス類、陶磁器類）収集運搬業務委託 一式	円 14,551,000	21. 4. 1	22. 3. 31

(5) 工事関係

収集における基地である清掃事業所の外装改修工事及び車両出入口カーブミラーの設置工事を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
西 豊 浜 町 地 内	清掃事業所外装改修工事	樋取替工 フェンス取替工 一式	円 735,000	22. 1. 26	22. 3. 5
〃	清掃事業所車両出入口カーブミラー設置工事	カーブミラー設置工 既設カーブミラー撤去工 一式	262,500	22. 2. 18	22. 3. 20

3 燃えるごみ、金属・その他の収集状況

旧伊勢市地区を2地区（月・木曜日地区、火・金曜日地区）に分け、1地区18コース（2tパッカー車17コース、軽トラック1コース）にて、燃えるごみは週2回、金属・その他は隔週1回（水曜日）収集を行っていたが、6月に収集コースを見直し、1地区16コース（2tパッカー車15コース、軽トラック1コース）へと改善を図り収集を行った。また、二見町、小俣町、御菌町の各地区についても燃えるごみは週2回収集を行い、金属・その他は二見町、小俣町は毎週1回（水曜日）、御菌町は隔週1回（水曜日）収集を行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみ等の収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、各自治会の要請により年1回（30日間）収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

燃えるごみ		金属・その他		粗大ごみ		計	
延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量
車 18,714	kg 27,251,950	車 2,508	kg 1,098,830	車 538	kg 375,100	車 21,760	kg 28,725,880

4 資源物の収集状況

資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装については旧伊勢市地区では16地区に分け、約880箇所の資源ステーションを設置し、資源びん、紙・布類、ペットボトルは月1回、プラスチック製容器包装は月2回収集を行った。また、ガラス類、陶磁器類については、約400箇所の回収場所を設置し、随時収集を行った。二見町地区では34箇所、小俣町地区では61箇所の資源ステーションを設置し、随時回収を行った。御菌町地区では16箇所の資源ステーションを設置し、紙・布類とプラスチック製容器包装については随時収集を行い、資源びん、ガラス類、陶磁器類、ペットボトルについては16箇所の資源ステーションのほか12箇所の回収場所を設置し、資源びん、ガラス類、陶磁器類は週1回、ペットボトルは月2回収集を行った。

また、視覚障がい者については、自宅を隔週1回（水曜日）戸別訪問し、資源物収集を行った。

(1) 資源物収集量

区分	資源びん	新聞・折込チラシ	雑誌・雑紙類	段ボール	飲料用紙パック	布・衣類
収集量	kg 1,067,190	kg 1,156,840	kg 1,611,070	kg 844,620	kg 30,260	kg 152,670

ペットボトル	プラスチック製容器包装	ガラス類	陶磁器類	乾電池	蛍光管	計
kg 315,760	kg 1,142,820	kg 138,830	kg 210,160	kg 56,019	kg 38,660	kg 6,764,899

(2) 視覚障がい者宅戸別収集

訪問回数 延べ218回

5 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成14年度から順次開設している。開設状況としては、平成21年度末現在で16箇所開設（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・東豊浜及びいせトピア）しており、支所や指定管理者での管理のほか、伊勢市シルバー人材センター及び地元自治会にステーションでの受付等の業務を委託した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
船江4丁目 地内ほか	資源回収ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	円 3,140,320	21. 4. 1	22. 3. 31

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
宮後 2 丁目 地 内	伊勢中央資源回収ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	円 1,100,000	21. 4. 1	22. 3. 31
宇治浦田 2 丁目 地 内	宇治資源回収ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	500,000	21. 4. 1	22. 3. 31
中須町地内	城田資源回収ステーション受付等業務委託	資源物受付及び搬入車両誘導等業務一式	500,000	21. 4. 1	22. 3. 31

6 一般廃棄物処理手数料

(1) 粗大ごみ等の有料収集手数料として 779 件、2,261,700 円を徴収した。

また、猫等の小動物 232 体の死体収集を行い、そのうちペットとして飼われていた 63 体については、1 体につき 1,050 円の手数料として、66,150 円を徴収した。

区分	手数料	
	件数	金額
有料収集	779 件	2,261,700 円
小動物の死体	63	66,150
合計	842	2,327,850

(2) 火災被害者 2 件、水害被害者 2 件及び台風 18 号による被害者 36 件の収集については、一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災被害者	水害被害者	台風被害者	計
件数	2 件	2 件	36 件	40 件